

## <父の日のプレゼント>

「今年の父の日のプレゼントは②に絵を描こうと思うんだ」と伝えると、色々な質問が次々に出ました。

「こんなになくさんの何も書いてない白いマグカップどこから持ってきたの？」

いいことに気が付いたね。これが一番の苦勞だったんだよ。でも持ってきたんでなく買ってきたから大丈夫。(見つけた無地のマグカップを製造元が家族経営の小さい会社だから数が少なかったら?と云われ...)

「使った後洗っても絵は消えないの？」

大丈夫、特別な絵具だからオーブンで火炙ると、こすっても洗っても落ちないよ。

「そのカップ落としても割れない？」

厚いから少しぶらけても大丈夫さうだけど、落としたら割れちゃうから気を付けなさいね。

「絵は絵具でいきなり描くの？絵具で描いてまちがえたら消せるの？」

紙に描いた絵を写せる特別な「転写ペーパー」というのを使って写せるよ。

それは後で消せるの、絵具も描いてすぐ拭いたらぬれた布で消せるよ。

何かをやると言われて「よし、やるぞ」と直結すると、まず疑問点を解決してから安心できる人と、又の疑問点もそれぞれの人で多方面にわたっているのでも、大勢でやると、色々な考えを知ることができて、「なるほど」と思えることも増えて、みんなが得だなと思います。

さて、それからのデザインのアイディアは、一人一人が「お父さんの好きなもの」「わたしの好きなもの」「こんなカップがあれば使いたいと思うもの」と一生懸命考えていました。

「特別な絵具」はトロ〜りとしていて、筆にのぼりいつけりとたれるし、ちよとどとかおれとしまし、描き方をそれぞれに工夫して、筆をゆくり動かしたり、点描風にしていました。


「これは何？」という風の絵も色合いがきれいで、「ハッ」と感心する物はかり。



でも大雑把な絵具の使い方には、なくなってしまうのが心配になって、「この絵具は高い物だからていねいに使えぬ!!」効率的な説明で、お互いに「オイ、この絵具高いたろ?」ヒェ〜という顔で真剣に使ったり...

でき上がりにはみんな満足したようで、「これババァ何飲むかな〜コーヒーが好きなからコーヒーだよ」「オムとこはビールかな」「ボウのババァお酒飲まないから、コーヒーかな」と話がはずんでいました。

## このごろはやりの新遊び「マンカラ」

自主学童の④が1ヶ月に1回集って話し合いをしています。合同行事(夏の遠足・7月玉会・ドッジボール大会など)の相談や、日常保育の内容や、はやっている遊びを伝え合ったり、遊び場の確保のためにやっていると等々、それぞれの地域おこしや、又の学童保育の歩んで来た道りによって、ずいぶん違いがあるのですか。「地域の中で育つ学童保育」「毎日の生活や遊びの中で育つ子ども達」というところでは同じ地点で考えることができる大切な機会です。又の中で教えてもらった「マンカラ」

A  それぞれの自分の側のカップに3つずつ入れたタマを、(カップのタマを全部取って右側のカップに1つずつ移して行きます。

B  1回ずつ交互にやるのですが、最後のタマが④に入れば、もうスタート  1回できます。そして自分の側のカップにタマがなくなった方の勝ちというゲームです。世界各地に同じ様な遊び方が

あって、ルールは色々ですが、今やっているのはこのルール。おやつに食べたヨーグルトカップをダンボール箱に見取り付け、タマはビーズと、藤の種(あやねさんのお母さんからもらった平たくて丸い黒い種)を使っています。やってみるとなかなか奥が深く、相手のタマの動きや数を予想して、このカップのタマを次に動かすのが有利か考えたり、よしもうすぐ終わりと思っても、相手の出方で形勢が変わったりして、もう一回もう一回とやめられなくなれます。初めは見ていて「何コレタマを捨て動かしているだけでつまんなーい」と言っていた(年生もすか)夢中で、次の相手を考えながらウーンと考えてる顔は、真剣で、見ているだけで楽しくて、見物人が集まるほどです。家でやってみても面白いですよ、きっと。

## <お泊り会>

もう2つ寝るとお泊り会(子どもで、こういう教え方が得意でセンクリ)。

◎病気にならないで来られるように、早く寝ようね

◎荷物は、自分で作ろうね。お家の人に見てもらって、自分で何がどこに入っているか確かめながら自分で作ろうね。

と話しています。

## <キャンプのしおり>

3年生が「こどものしおり」の原稿作成中です。まず3年生からキャンプへの楽しみや期待や自分達の役割の自覚が高まるように、今頑張っています。来週にできたら、3年生が説明して、全員が持ってくるので、お礼に見て話したり、準備したりをお願いします。